

| | | |
|----------------------------|---|--|
| 開講科目名 / Course | 精神看護援助論 | |
| ターム・学期 / Term・Semester | 2025年度 / Academic Year 3学期 / Third | |
| 開講区分 / semester offered | 3学期 / Third | |
| 単位数 / Credits | 1.0 | |
| 学年 / Year | 2 | |
| 主担当教員 / Main Instructor | 杉本 圭以子 | |
| 担当教員名 / Instructor | 後藤 成人、杉本 圭以子 | |
| 必修・選択 / compulsory subject | 必修 | |
| 講義形態 / Class Type | 講義 | |
| 授業回数 | 8 | |
| 科目的目的と概要 | 患者－看護師関係を基盤とした精神看護を実践するために必要になる知識、理論、技法を学ぶ。 | |
| 到達目標 | 1. 精神看護の基本的概念について説明できる。 2. 主な精神疾患における精神科治療の概観を説明できる。 | |
| DPとの対応 | 1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、6.探求心と創造力 | |
| 授業計画 | 01. 精神看護の基本概念 精神症状、診察と検査 02. 患者 - 看護師関係の構築 治療的関係・コミュニケーション 03. 精神疾患と治療(1) 統合失調症・双極性障害・うつ病 04. 精神疾患と治療(2) 不安障害・強迫性障害・心的外傷・解離症 05. 精神疾患と治療(3) 身体性障害・摂食障害・睡眠障害・物質関連障害 06. 精神疾患と治療(4) 認知症・パーソナリティ障害・てんかん・発達障害 07. 精神疾患の治療法(1) 薬物療法・電気けいれん療法 08. 精神疾患の治療法(2) リハビリテーション療法・精神療法 | |
| その他の授業の工夫 | 学生自身が主体的に学び、より深く理解するために、アクティブラーニングを組み込む。理解を深めるため視聴覚教材を多用する。知識の定着を図るため、小テストを実施する。 | |
| 時間外学修 | 事前学修：次回の学習内容である各精神疾患の概要や治療法について教科書を用いて予習し、ワークシートに記入する（10h）。 事後学修：学習した内容をワークシートに書き込んでまとめ、演習、実習に活かせるよう整理する（12h）。 | |
| 評価方法と評価割合 | 筆記試験80%、小テスト10%、提出物10% *出席を前提としているため欠席の場合は減点の対象とします。 | |
| テキスト | 新体系看護学全書 精神看護学2 精神障害を持つ人の看護（メディカルフレンド社） | |
| 参考書 | 系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開（医学書院） 精神看護学 臨床で活かすケア こころ・からだ・かかわりのプラクティス（南江堂） | |
| 履修する上で必要な要件 | 精神看護学概論を履修済みであること。 | |
| その他 | | |
| 教員の実務経験 | 有・無 | 有 |
| | 内容 | 杉本圭以子：精神科病院、精神科クリニックでの看護師としての経験 後藤成人：精神科病院での看護師としての経験 |
| 教員以外で指導に関わる者の実務経験 | 有・無 | 無 |
| | 内容 | |
| 実務経験をいかした教育内容 | 精神科での勤務経験を活かし、イメージしにくい精神疾患の特徴や看護の対象者についてわかりやすく伝える。 | |